

審 議 会 等 会 議 録

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
<p>事務局 (須田課長)</p> <p>梅田市長</p>	<p>I 久喜市地域公共交通会議委嘱書交付式</p> <p>1 委嘱書の交付                      それでは定刻となりましたので、平成30年度第1回久喜市地域公共交通会議を開催します。                      私、本日の進行を務めさせていただきます、生活安全課長の須田と申します。                      本日の会議を開催するにあたり委員の変更がございます。                      これに伴い、会議に先立ち委嘱書交付式を行います。梅田市長から委嘱書を交付します。</p> <p><b>【梅田市長から新島委員へ委嘱書交付】</b></p> <p>ありがとうございます。なお、本日委嘱書の交付を予定していた栗原様、青木様、柳様につきましては、本日ご欠席のご連絡をいただいています。                      本日新たに4名の方に委員をお願いすることになりました。                      宜しく申し上げます。                      続きまして、梅田市長からご挨拶申し上げます。宜しく申し上げます。</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>皆様、改めましておはようございます。久喜市長の梅田修一でございます。ご案内のとおり、私は去る4月22日に執行された久喜市長選挙におきまして、数多くの市民の皆様のご信任を賜り、久喜市政をお預かりすることになりました。</p> <p>先ほど久喜市地域公共交通会議委員の委嘱書を交付させていただきましたが、25名の委員の皆様とともに、ずっと久喜市に住み続けたいと思えるまちづくりを目指して、久喜市の地域公共交通を考えてまいりたいと存じます。</p> <p>さて、アクセスの良い鉄道網や高速道路網など良好な交通利便性は本市を語る上で大きな特徴の一つであります。私は、地域公共交通の充実につきましても、近隣に誇れる内容であるものと考えております。本市の地域公共交通は民間の路線バス網を主たる交通機関に位置付けし、市ではこれを補う形で、久喜地区においては市内循環バス、菖蒲地区、栗橋・鷲宮地区においてはデマンド交通（くきまる）を運行しております。</p> <p>さらには、久喜地区においてデマンドタクシー実証実験を行うなど、意欲的に地域公共交通網の整備・充実を図って参りました。</p> <p>これらの地域公共交通網は多くの市民の皆様にご利用をいただいております。日常の移動手段としてなくてはならないものになっているところでございます。</p> <p>このような中、前回までの地域公共交通会議におきましては、事務局の方から総合的な地域公共交通の見直しにつきましても、近々に行ってまいりたい旨、申し上げておりましたが、私は地域公共交通の総合的な見直しを図るにあたりましては、本市の状況について、今少し慎重に検討しなければならないものと考えております。</p> <p>例えば、私は東京理科大学跡地の活用につきましては、維持管理費に係る財政負担の軽減化に向けて、当該施設を民間企業にご活用いただけないかと考え</p>

ているなど、その他、いくつかの公共施設につきましても、一度立ち止まり、持続可能な公共施設のあり方や活用計画について、再検討させていただくためのお時間をいただきたいと考えているところでございます。

これらの公共施設の活用方法につきましては、市民の交通需要に変化が生じてしまう可能性があることから、市民の交通手段を考える総合的な地域公共交通の見直しの協議につきましても、相応のお時間をとっていただく必要があるものと考えております。

その間、地域公共交通会議では、本市の地域公共交通に関する課題を様々な角度からご協議いただければありがたいところです。

本市の地域公共交通会議では、委員の皆様大変活発なご協議をいただいていると伺っているところでありますので、今後とも皆様には本市の地域公共交通に対しまして、久喜市をもっとよくするとの想いのもと、ご協力とご理解を賜りますよう、お願い致します。

結びに、ご参会の皆様のご健勝と、ご活躍をご祈念申し上げまして挨拶とさせていただきます。本日はどうぞ宜しくお願いいたします。

事務局  
(須田課長)

ありがとうございました。恐れ入りますが、市長は別の公務がありますので、ここで退席させていただきます。

(市長退席)

ここで新たに委員になられました、新島信重様に一言ご挨拶頂きたいと存じます。新島様宜しくお願いします。

(新島氏挨拶)

ありがとうございました。ここで人事異動がありましたので、事務局を紹介させていただきます。

(事務局紹介)

## II 平成30年度第1回久喜市地域公共交通会議

(資料確認)

### 1 開会

それでは、ただ今から、平成30年度第1回久喜市地域公共交通会議を開催したいと存じます。久喜市地域公共交通会議条例第7条第2項により、久喜市地域公共交通会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことのできない旨規定しております。本日は代理出席の方を含め、21名の方にご出席いただいておりますので、本会議が成立していることを、まずもってご報告いたします。

なお、中村委員、須釜委員、柏崎委員、戸澤委員につきましては、本日欠席のご連絡をいただいています。また、朝日自動車様から栗原委員の代理として田沼様、埼玉運輸支局様から青木委員の代理として泰間様、埼玉県交通政策課様から柳委員の代理で岡戸様にお越しいただいております。なお、本日の傍聴者はおりません。

それでは次第にもとづき、開催を進めてまいります。会議開催にあたり、中村会長からご挨拶を頂きます。

	<p>2 会長あいさつ</p> <p>皆様改めましておはようございます。委員の皆様におかれましてはお忙しい中お集まり頂き、誠にありがとうございます。</p> <p>今年は例年より記録的に梅雨明けが早く、非常に暑い日となっております。皆様におかれましては、くれぐれもご自愛頂きたいと思ひます。</p> <p>さて、先ほど市長から挨拶があったとおり、新市長の就任に伴い、地域公共交通会議の今後の運営について、若干の状況の変化もあるかと思ひます。</p> <p>後ほど事務局から説明がありますが、地域公共交通会議の協議の進め方は、当面の間は、地域公共交通における課題の検討や必要性に応じた見直しを行うものとし、総合的な地域公共交通の見直しは、少し時間を要しますが、課題については、引き続き協議を行うことになるかと思ひますので、よろしくお願ひします。</p> <p>しかしながら、今後も地域公共交通会議の重要性は変わることはありません。地域公共交通が充実し、生活しやすい街、人が集まりやすい街、また、高齢者・障がい者が外出しやすい街を目指しまして、それぞれの役割分担をして、地域社会におきまして、地域の活性化に繋がるよう、皆様のご協力をお願ひします。</p> <p>本日は3つの議題がございます。皆様には、それぞれの議題に忌憚のない意見を頂きますよう宜しくお願ひいたします。</p>
<p>事務局 (須田課長)</p>	<p>3 議題</p> <p>ありがとうございます。それでは、久喜市地域公共交通会議第7条第1項の規定により会長に議長をお願ひし、議事を進めていただきます。</p>
<p>中村会長</p>	<p>それでは暫くの間、議長を務めます。議事が円滑に進みますよう、皆様のご協力をお願ひします。はじめに本日の署名委員についてですが、前回からの順番ということで、吉水委員と齋藤委員にお願ひをいたします。それでは次第にもとづいて議事を進めます。</p> <p>議題（1）今後の地域公共交通の検討について、事務局から説明をお願ひします。</p>
<p>事務局 (野中主幹)</p>	<p>それでは議題（1）今後の地域公共交通の検討について、ご説明します。資料はございません。</p> <p>先ほど会長の挨拶の中で、本会議の重要性は変わらない旨、お話がありました。法的な手続きにおける重要性については言うに及ばずですが、久喜市議会においても地域公共交通の様々なご質問がありまして、その際には必ず地域公共交通会議で協議の上、市で決定していく旨の答弁を行っています。</p> <p>このことから、市の交通政策を決定するにあたり、地域公共交通会議の協議を経ることは必要であり、今後も地域公共交通会議の重要性が変わることはないことをご理解いただければと思ひます。</p> <p>それでは簡単ですが、今後の検討事項について、ご説明いたします。</p> <p>現在、市が運行している地域公共交通についてはご案内のとおり、久喜地区の市内循環バス、菖蒲、栗橋・鷲宮地区のデマンド交通、そして現在、実証実験中ですが、久喜地区におけるデマンドタクシーとなっております。</p> <p>事務局では、デマンドタクシー実証実験の終了、あるいは東京理科大学跡地の公共施設としての供用開始等を背景に、地域公共交通の総合的な見直しが必要となるのではないかと考えてきたところです。</p> <p>そのため、事務局では地域公共交通の総合的な見直しに向けて、広範囲なアンケート調査の準備、新たに仮称ですが、地域公共交通計画策定委員会といっ</p>

	<p>た外部組織の必要性の有無、庁内会議の立ち上げなどを検討してまいりました。</p> <p>しかし、市長の交代を受けまして、市長挨拶にもありましたが、東京理科大学跡地の公共施設としての見直しがあり、これまで想定していた状況に変更が生じることとなりました。</p> <p>このまま当初の予定通り、地域公共交通の総合的な見直しに着手するとなると、近々さらなる見直しが必要になることが想定されるため、地域公共交通会議の協議の方向性に若干の修正をお願いするものでございます。</p> <p>具体的には、当面の間は、本会議において現状の公共交通を前提とした課題の抽出や、現状の公共交通を前提として、必要に応じた見直しについて協議頂くことでご理解いただければと存じます。</p> <p>仮称地域公共計画策定委員会については、本会議で活発な協議をいただいておりますことから、新たに発足させずとも良いという判断がありました。</p> <p>新たな庁内会議については、市と民間事業者とが意見交換を行う重要な機会と考え、新市長からも立ち上げについて、内諾いただいている状況です。近いうちに正式に発足させたいと考えております。</p> <p>さて、本年度の内容については、デマンドタクシー実証実験に関することが最も大きな課題になると考えています。議題の（２）で改めて説明しますが、昨年度、第９回地域公共交通会議でアンケート（案）について、皆様からご意見を頂きましたが、今回総合的な見直しについて、相応な時間を要することを受けて、新たにアンケート調査につきましても、まずはデマンドタクシー実証実験に絞ったものを実施したいと考えています。</p> <p>さらに、議題（３）のデマンドタクシーを含めた利用状況の報告もありますので、その他でデマンドタクシー実証実験について、委員の皆様の意見を伺えればと考えております。</p> <p>以上で、地域公共交通会議の方向性の変更点について、お話をさせて頂きました。</p>
中村会長	<p>ただ今事務局から議題（１）今後の地域公共交通の検討について資料はございませんが、今後の検討予定について、説明がございました。ご意見等ございましたら、宜しく願いいたします。</p>
明野社長	<p>タクシー協会の明野です。一つ確認ですが、消費税の改定が来秋にありますか、そのことについてはいかがでしょうか。</p>
事務局 （野中主幹）	<p>消費税の改定に関しましては、従来の地域公共交通会議でも、改定についてこのタイミングで議論頂くことは課題でありましたので、来年度の協議の中心になると事務局では考えております。</p>
中村会長	<p>よろしいですか。ありがとうございます。ほかにご意見はございますか。</p> <p>地域公共交通の役割は公共交通の充実、地域社会の活性化にありますので、引き続きご協力願います。</p> <p>それでは議題（１）を終了し、議題（２）久喜市デマンドタクシー実証実験へのアンケート調査について、事務局から説明願います。</p>
事務局 （野中主幹）	<p>それでは、議題（２）久喜市デマンドタクシー実証実験へのアンケート調査についてご説明します。</p> <p>《資料１説明》</p>
中村会長	<p>ただいま資料１に基づき、デマンドタクシー実証実験アンケート調査について</p>

<p>明野委員</p>	<p>て説明がありました。この内容について、ご質問等ありますか。</p> <p>先ほど事務局の説明の中で、デマンドタクシー実証実験アンケートの中にデマンド交通を入れていますが、個人的に分けないと混乱するのではと思います。</p> <p>デマンド交通利用者300人とデマンドタクシー登録者500人、デマンドタクシー未登録者200人の合わせて700人は分けた方がダブルことはないと思います。</p> <p>また、デマンドタクシーと言われても高齢者はデマンド交通と混同することがあると思うので、比較することは良いことだと思いますが、分けた方が分かりやすいと思います。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>資料1の抽出人数ですが、デマンドタクシー登録者について「はい」と「いいえ」のパーセンテージは出ると思いますが、利用者300人と未利用者200と、対象人数が違うので、人数を同じにしないと比較して見えてこないのかなと思います。</p> <p>明野委員の言うとおりに、デマンド交通の利用者にデマンドタクシーについて聞いて、「はい」と回答しても、どちらの「はい」なのか分からず、アンケート設問を読むとこれをどういう分析にしようとしているのか分かり辛いという気がします。</p> <p>重ねて2P 問1-4ですが、地域公共交通の分析に必要なのは免許を持っているかではなく、実際に運転しているか否かなので、表現を変えた方がよいかなと思います。</p> <p>問2-1の外出の定義については、だいたい人によって違うのかなと思います。</p> <p>外出は引きこもりをしているかいないのか、あるいは近所のコンビニには行くけれど、例えばヨーカドーにはいかないとか、事業の目的は、外出機会を増やして健康維持に繋げましょうということだと思うので、もう少し明確にした方がよいのかなと思いました。</p> <p>併せてP4の問3-3の4では、料金が高額だから（割引があっても）とありますが、これに高額だから利用しないに○をつければ、今後料金の値下げがあるのではと、回答者に期待させてしまうのではないかなと思います。</p> <p>値下げすれば、民間タクシーよりもはるかに利用料金が安くなってしまいうわけですから、適切ではないのかなと思いました。</p>
<p>中村会長</p>	<p>ただ今、明野委員、鈴木委員からご意見を頂きました。他にはございますか。</p>
<p>大迫委員</p>	<p>明野委員のおっしゃるとおり、私たち障がい者はタクシーを利用しますが、デマンドタクシーとデマンド交通（くきまる）を理解するのに時間がかかるので、アンケート調査は別々にしてほしいです。双方を一緒に考えてしまう方が多いと思うのでお願いします。</p>
<p>中村会長</p>	<p>ありがとうございます。どちらもデマンドという名前があり、分かり辛いということでした。</p> <p>また、設問についても鈴木委員からいくつか頂きましたが、事務局に再度修正頂くことでよろしいですか。</p> <p>本日配布された意見書にお書き頂く内容ではありますが、本日の会議でご意見をいただいているので、修正として反映させて頂きたいと思います。よろしいですか。</p>
<p>鶴岡委員</p>	<p>アンケート調査の数字は問題ないと思いますが、事業概要の分からない方も</p>

	<p>いるので、概要をつけた方がいいのかなと思います。</p>
中村会長	<p>そもそも実証実験の概要が分からないという方もいるので、概要も添付して頂くような対応をお願いするという事で、ご意見がありました。他にはございますか。</p>
齋藤委員	<p>このアンケートの質問では、デマンドタクシーとデマンド交通については、混同すると思いますので、分けることについては賛成です。 それとP2の間2-1で定期的にご利用するとありますが、不定期の方もいます。定期に限定されるので、外した方がよいのではないのでしょうか。</p>
岡戸氏	<p>分けた方がいいということへの補足ですが、デマンドタクシーの登録に利用者・未利用者がありますが、アンケートを取るときに、それぞれのアンケートごとに判別できるようにマークをつけた方がよいと思います。 分析するときに、必要になるかと思いますが、やった方がいいと思います。 それとアンケートをやったときによくあるのですが、やった後にこうしておけばということがあると、後で無駄になるので慎重にされた方がよいと思います。 あと、市場調査の精度としては、70%の回収率があって初めて数値の正当性があると一般的に言われますが、お盆の時期が入るので、7割回収できるのか心配な気がします。久喜市のスケジュールもありますが、もう少し回答出来る期間の設定を考えた方がよいと感じました。</p>
中村会長	<p>ありがとうございました。お盆があるので回答期間の見直しをした方がよいのではないかということでした。 お尻を伸ばした方がよいということですね。</p>
岡戸氏	<p>はい</p>
足立委員	<p>アンケートの中にデマンド交通について、デマンド交通を利用している方でデマンドタクシーも利用している方も増えているということですよ。 その利用者のアンケートをここで取りたいので、デマンド交通についてのアンケートも入れているということですか。</p>
事務局 (野中主幹)	<p>今、足立委員のおっしゃったのは、デマンド交通とデマンドタクシーの利用者が増えてきたからというお話かと思いますが、私どもとしてはデマンドタクシーの満足度を聞きましても、それが高いのか低いのか分からないので、デマンド交通の利用者に聞いてみて、その違いをみてみたいという趣旨です。</p>
足立委員	<p>分かりました。それならば、デマンド交通とデマンドタクシーのアンケートを最初から別にした方がよいという明野委員と同様です。</p>
中村会長	<p>他にございますか。</p>
柴木副会長	<p>アンケートについて、私と皆様の意見は同じですが、一つこれは慎重にアンケートを取るならばもう一つ聞きたいのですが、現在デマンドタクシーを実施したことによって、久喜地区の方とそれ以外で、利用するものが違うわけで、これを同じ久喜市民と考えれば、統一すべきであることのアンケートを取るべきか、制度設計の見直しをしながら、会議で示して決めた方がよいのか悩みます。</p>

<p>事務局 (野中主幹)</p>	<p>皆様が考えるのと同じで、実際、利用者が混乱しているのは間違いないではないですか。久喜地区の方からしてもなんでなんだろうということもあります。</p> <p>ただ、いきなり市民に何の方針も示さないままアンケートを取ると、更に混乱すると思うので、久喜市長からもありましたが、このアンケートでは、2から3年くらいのスパンを考えて見直しをしたいという考えもあるので、今回そのことに触れないことも必要かと思いますが、事務局の意見はいかがですか。</p> <p>現在、2つの制度があるということで、更には将来的に一つの制度を目指していく、であるとしたら、どの制度がよいのか。</p> <p>実際には、両方の制度を使った方でないと表現・評価ができませんのではないかと思いました。</p> <p>その悩みの中で、さらに市長が代わったことで、総合的な見直しが少し伸びたということがありましたので、今回は載せませんでした。</p> <p>載せた方がよいかどうかについても、恐縮ですが、今のところ事務局も判断できないところでございます。</p>
<p>柴木副会長</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>本島委員</p>	<p>私も皆様の意見を聞いていてだんだんわからなくなりました。</p> <p>P3の問2-3のところ、今久喜市を全体的に考えるとしたご意見をもって選択するというので、この設問はあると考えました。</p> <p>75歳以上の方が久喜地区だけを考えるのか、全体として、久喜地区には行くけれど菖蒲地区や栗橋・鷲宮地区に行かないという答え方をするのか、どのように答えてもらうのか、アンケートの回答が大変だと思います。以上です。</p>
<p>中村会長</p>	<p>いろいろアンケートの作り方によって、回答は非常に難しいと思います。</p> <p>皆さまもそれぞれ思いがありますし、平成29年度は9回の公共交通会議を開いた中で、時間をかけて行うということにもなりましたので、踏まえて今アンケートを取るにはどうするか。利用者（高齢者）にとって分かりやすいアンケートをつくるにはどうするか、事務局にも工夫頂き案にしましたが、さらに皆さまにもご意見をいただければと思います。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>久喜地区内のデマンドタクシーについては、やるやらないで相当に必要性について揉めたものでありますが、それを利用者は知らないわけであって、当然この仕組みが未来永劫継続するだろう、評判がよければ久喜地区だけでなく、ほかの地区にも広げられるだろうと期待をしていることと思います。</p> <p>その前提で、特に今後、久喜地区のデマンドタクシーをどうするか考えるとき、未登録の方のアンケート結果が市長も重視されるかと思いますが。</p> <p>利用していない方の動向については、仮に私が久喜地区に住んでいて、違う地区、例えばモラージュ菖蒲に行きたいときにどう答えるか。問4-1は知らないと答える、続いて問4-2、知ってるのになぜ利用しないのかということですが、私なら全部チェックをいれてしまう。</p> <p>登録なしでも使いたい、手続きが面倒、予約が面倒、どこでも行けるよう、全部つけてしまうことが目に見えていて、その結果が出た時に我々がどう判断するべきか、会長から挨拶で、ある程度揉んでいければとありましたが、アンケートだけを垣間見れば、久喜地区以外にもデマンドタクシーを広げないと、ということにならないかを心配します。</p>
<p>中村会長</p>	<p>資料1ですが、資料をみてもらった中で、いろいろご意見をいただいている、7月31日までに回答して欲しいというお話の紙を配りましたが、今、皆</p>

<p>事務局 (野中主幹)</p>	<p>様にデマンド交通・デマンドタクシーが混在していて、回答者が分かり辛いというお話もいただいていますので、もし可能であれば事務局で事業を別々にして意見を分けて、委員の皆さまに送り直すということが可能なら、いかがでしょうか。</p> <p>可能です。</p>
<p>柴木副会長</p>	<p>私からは、こちらを8月20日で当初予定されていた締め切りですが、できれば31日くらいまで延ばすことがポイントと思います。</p> <p>あまりこれが9月、10月になると実証実験を継続する、しないという判断が直前になり、市民の皆さまに更に迷惑をかけるので、皆さまのご意見を事務局の方で反映していただけるなら、事務局へ付託させていただいても良いかなと思います。</p> <p>ただ一つのお願いが、デマンドタクシー利用登録者(旧久喜地区の方)とデマンド交通利用者300名のアンケートは分けていただき、あとは事務局が皆さまのご意見を吸い上げて頂くことをお願いしたいと思います。</p> <p>採決をとって過半数なら良いのではと思います。</p>
<p>中村会長</p>	<p>事務局への付託ということで、事務局でも修正については、もう一度案を確認したいとの説明がありましたので、まずはデマンド交通とデマンドタクシーを分けて頂く方向でお願いします。</p> <p>実施については検討をしないといけませんし、データ取りはある程度、絞るお話もあり、一度デマンド交通とデマンドタクシーを分けたアンケート案を皆様を示して、ご意見あれば事務局で修正させて頂くということによろしいですか。</p> <p>(はいの声あり)</p>
<p>明野委員</p>	<p>確認ですが、今回のデマンド交通の方の数字をとるのはデマンドタクシーとの比較のためだけですか。それなら無理に取る必要はないと思います。</p> <p>もう一つは柴木副会長の言うとおりの、デマンド交通とデマンドタクシーでは1乗車300円と約1,500円で大きい金額差があります。</p> <p>もし、栗橋・鷲宮地区でデマンドタクシーの実施になれば、1,500円も出せないかもしれないという方もいると思うので、統一させるより地域・地区にあわせることも必要と思うので、ここではデマンドタクシーについてどのように考えているのか、確認できればよいのかなと思います。</p> <p>デマンド交通とデマンドタクシーでは料金が300円、デマンドタクシーはかかるときは1,500円もかかるので、経済力よっての違いも考えるべきで、比較対象とはし辛いこともあり、単純にアンケート調査についてはデマンドタクシーだけにした方が良いのかなと思います。</p>
<p>足立委員</p>	<p>私もデマンドタクシーのアンケートのみで良いと思います。</p> <p>必要なのはデマンドタクシーの方なので、そのアンケート内容を分かりやすく、充実させれば良いと思います。</p> <p>ですので、デマンド交通のアンケートまで取る必要はないと思います。</p> <p>デマンド交通も75歳以上の方を対象にするつもりだったのなら、尚更デマンドタクシーだけで良いと思います。</p>
<p>中村会長</p>	<p>いろいろご意見ありますが、今回、デマンドタクシーのアンケート1つに絞る意見もいただいております。</p>



<p>本多委員</p>	<p>P 8には自由意見欄もあり、デマンド交通、市内循環バスのご意見も伺える内容となっておりますので、市の公共交通についてご意見のある方は、当然ここで回答をいただけたらと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>本多委員、これまでのご経験の中でご意見いかがでしょうか。</p> <p>今日、議論は大体出尽くしている気がします。何のアンケートを取るか。アンケートの内容が広がりすぎては分かりにくくなる可能性がありますので、デマンドタクシーに特化したアンケートにすべきと思います。</p> <p>また、地区によっては、移動手段についてはわからないという方もいらっしゃると思いますので、注意すべきだと思います。</p>
<p>中村会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>今日出ましたご意見から、デマンドタクシー実証実験に絞ったアンケートをやった方がよいということで、今後、実証実験をどうするか、総合的な見直しは先送りとして、まずはデマンドタクシー実証実験について、議論頂くことが優先かと思いますので、そのような形で事務局には、再度アンケートをつくり直して頂くということによろしいですか。</p> <p>また、7月31日までにご意見いただいて、それを反映したものを7月31日以降にお送りすることによろしいですか。作り直しして、お送りする形で。</p> <p>仮に事務局が修正に時間を要するのであれば、委員の方から意見がありましたように8月31日締める形で作り直し、出来次第お送りすることによろしいですか。</p>
<p>明野委員</p>	<p>実際にはお盆の時期もあるので、8月6日より8月16日くらいの開始の方が良いのではないですか。</p>
<p>事務局 (野中主幹)</p>	<p>お盆があった方が答えやすいかどうかは判断出来ない部分もあります。</p>
<p>中村会長</p>	<p>お盆も留守ですとか、お忙しい方がいると思います。</p> <p>期間をずらしてずるずるいくよりも、ある程度の期間でということ、必ず8月31日ということだけでなく、9月上旬くらいまで回答期間を延ばすのは可能だと思います。よろしいですか。</p> <p>本日いただいた意見を絞らせていただいて、アンケート調査内容についての案を郵送で事務局からお送りして、ご意見があればお返し頂く形で、作業をさせて頂くということで、今回はデマンドタクシー実証実験に絞る形によろしいでしょうか。</p> <p>(はいの声あり)</p>
<p>中村会長</p>	<p>それでは議題(2)については終了します。</p> <p>続いて議題(3)地域公共交通の利用状況について、事務局からお願いします。</p>
<p>事務局 (加藤課長補佐兼係長)</p>	<p>(資料2から4を説明)</p>
<p>中村会長</p>	<p>ただいま資料2から4に基づき、地域公共交通の利用状況について説明がありました。この内容について、ご質問等ありますか。</p>

齋藤委員	確認ですが、資料4の3の久喜地区以外の利用者は、実際に久喜地区内で利用しているということで宜しいですね。
事務局 (加藤課長補佐兼係長)	そのとおりです。
野本委員	デマンド交通の菖蒲地区についてですが、新久喜総合病院への乗り入れを始めましたが、利用状況はいかがですか。
事務局 (加藤課長補佐兼係長)	4月の乗車が2人、降車は5人で計7人、5月は乗車が3人、降車が9人で計12人、6月は乗車が0、降車が8人、4から6月のトータルが27人です。
松永委員	<p>実証実験の利用者は多いですし、80歳以上の方が多くいますが、スムーズにしているかが聞きたいです。知り合いも運転手の方に親切に対応していただいたと喜んでいました。予約の取れない方も少ないということで、スムーズな印象です。</p> <p>ただ、頭がないのが実証実験ということなんです。ずっと続くものだと考える方もいます。アンケートを取るときに、実証実験だということを予告した方がいいと思いますが、概ね好評いただいている印象です。</p> <p>そこで問題なく、事業が行われているかというのを聞きたいです。</p>
事務局 (加藤課長補佐兼係長)	特に、大きな苦情やトラブルはないという状況です。
増田委員	<p>今、実際にデマンドタクシーを実施している現状では、80歳台の利用者が多く、電話の対応が非常に難しいです。耳の遠い方が多い傾向もあります。実際1人で事務所の職員がやっています。当初は1名増員し、デマンドタクシーに時給900円、朝8時～17時までかかりきりで、費用がかかりました。今は、その方もお辞めになっています。</p> <p>また、ほかの会社の方ではお一人でされているところが多いと思います。</p> <p>これでは実際に電話に時間がかかってきて、通常の営業の機会ロスになります。また、日曜日・祭日でも電話がかかってきます。</p> <p>実際には1予約の1乗車の方式なので、システム上は予約が1件しか入らないはずですが、他の会社に当社の予約を消されてしまったこともありました。</p> <p>実際はスムーズなようでも、ご予約いただけない時間については、実際には配車に忙しくて予約できなかった人数についても、一々書けないので、時間を置いて別途でつけることが必要です。</p> <p>8時台の予約については、実際には、民間のタクシーやバスが一番忙しい時間帯が工業団地への通勤者の多い8時台ということで、お客様の送迎される会社も多く、なかなか対応できない状況です。</p> <p>通常利用のお客様からも予約がたくさんかかってきている状況ですので、デマンドタクシーの予約者にお断りしている状況もあります。</p> <p>このように数字に表れないものもあることをご理解ください。他の業者様でもデマンドタクシーの業務は難しいという声が多く、業者様へのアンケートがどのような反応になるか、それは分かりませんが、決してスムーズな状況ではないということをご理解頂きたいと思います。</p>
中村会長	貴重なご意見ありがとうございます。今回はデマンドタクシー事業者5社の

<p>明野委員</p>	<p>皆さまにおかれましては、ご苦勞されているということを伺いました。 明野委員も事業に賛同いただいておりますが、何かありますか。</p> <p>普通のタクシーですと、どこからどこまでで済みますが、デマンドタクシーはどこからどこまで、そして何時に。ということで、システム予約も必要で、通常の3-4倍時間がかかります。</p> <p>お客様へ迷惑をかけないように気を配っていますが、車両も固定となっていることもあり、業者としては難しい状況で実施していることに、ご理解頂きたいと思います。</p> <p>日頃から市政並びに市民にはお世話になっているということで、協力的に実施していますが、パソコンも各社1台入れており、費用がかかっていることを理解していただければと思います。</p> <p>事業者としては、今後、何かいい形になればという思いで実施しております。</p>
<p>中村会長</p>	<p>利用者の立場から松永委員にご意見頂いた内容と事業者の色々な実情の違い、5台の車両についても、費用についてもご協力頂きながら、地域公共交通の充実に向けた実証実験にご協力いただいているということで、誠にありがとうございます。</p> <p>多く事業者様に地域公共交通への参加をいただいているところですが、朝日バス様には資料の中で、何かご意見などありましたらお願いできますか。</p>
<p>田沼委員</p>	<p>これまでも、弊社のバス事業が影響を受けるというお話はさせていただいているところですが、正直申し上げて、75歳以上のバス利用者が増減しているかについてはお答えができません。</p> <p>デマンドタクシー資料4について4Pの9. 料金別の利用者数ですが、これは1,500円までの運賃補助をした後の、お客様の支払いの額ということで宜しいですか。</p>
<p>事務局 (加藤課長補佐兼係長)</p>	<p>タクシーメーター料金なので、運賃補助分は引いてない金額です。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>デマンドタクシーの利用者数について、細かい数字は結構ですが、デマンドタクシー利用者数の4月以降の傾向は分かりますか。</p>
<p>事務局 (加藤課長補佐兼係長)</p>	<p>登録者数であれば6月末日現在の数字が分かりますが、登録者数は、6月末日現在1,408人です。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>では登録者が3月から200人くらい増えているということですね。分かりました。</p>
<p>中村会長</p>	<p>他にはいかがでしょうか。</p>
<p>柴木副会長</p>	<p>3月で市内循環バス利用者の減った月がマイナス133ということで、おおむね久喜市内のバス利用者として、現状のデマンドタクシーの利用者が同一の方ではないのではないかとこのところまでは読み取れます。</p> <p>また、資料3のP8と資料4のP3についてですが、デマンド交通の平成29年度の「予約が取れなかった」方については、月平均 約150人、1日平均 約5人が予約の取れなかったことが分かります。</p>

	<p>デマンドタクシーは1か月で5人ということで、1週間に1人乗れなかった方がいるということです。</p> <p>菖蒲地区と栗橋・鷲宮地区で予約が取れない人がいると思いますが、その割合について教えていただけますか。</p> <p>というのは人口割合なんです。旧久喜地区は6万8千人、栗橋・鷲宮地区は6万5千人、菖蒲地区が2万人の人口があります。</p> <p>その中でも栗橋・鷲宮地区の方がデマンド交通をたくさん使っているかと思えます。</p> <p>おそらく栗橋・鷲宮地区で毎日5人くらいの方が乗れないのだと思います。</p> <p>おそらく3年以内には制度設計を見直すときに、台数の増車についても検討の必要があると思いますので、予約が取れない地区の内訳をおさえないなと思います。以上です。</p>
中村会長	<p>今、運行区域が2つあります。区域ごとの予約が取れない人数については、次回皆さまにお示しできればと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局 (加藤課長補佐兼係長)	<p>データとして出せるかは、今は何とも申せません。</p>
中村会長	<p>可能な範囲で委員の皆さまにお伝え頂きたいと思います。</p> <p>他の皆さまいかがでしょうか。</p> <p>今、副会長から現在課題の見えている問題について、今後分かれている地域ごとの事情もありますので、皆さまで検討できればと思います。</p> <p>議題(3)についてはよろしいでしょうか。</p> <p>(はいの声あり)</p> <p>それでは予定の議題は終了しました。委員の皆さまからは建設的な意見を頂き、ありがとうございました。進行を事務局へ戻します。</p> <p>4 その他</p>
事務局 (須田課長)	<p>続きまして、次第4のその他について、事務局から連絡があります。</p>
事務局 (野中主幹)	<p>事務局では市民の皆さまからアンケートを実施するに先立ち、デマンド実証実験について委員の皆さまからご意見を頂きたいと思います。</p> <p>皆さまのお考えを伺えればと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
鶴岡委員	<p>資料2ですが、全体的には市内循環バスについては増加しているなと思います。年度によっては少なくなったり多くなったり。そのあたりの原因を分析し、理由づけることについて、今後の検討の参考として、お願いしたいと思います。</p>
本多委員	<p>デマンドタクシーアンケートは利用者向けですが、利用者にどのような影響を及ぼしているのか、アンケートの前段として、載せることをお願いします。もし間に合えばお願いします。</p>

<p>事務局 (須田課長)</p> <p>柴木副会長</p> <p>事務局 (須田課長)</p>	<p>5 閉会</p> <p>閉会の前に事務連絡としまして、次回の会議は10月頃に開催を予定します。 会議資料とともに文章でお知らせいたします。アンケートはご意見を伺いまして、こちらで修正させていただきます。それでは閉会に向けて、柴木副会長お願いします。</p> <p>皆様大変お疲れさまでした。次回は10月頃の開催になるかと思いますが。ちょうど、デマンド交通運行開始から10月で、5年経過するとのことでございます。</p> <p>実際の5年の中で、市内循環バスも含めて、当然5年経てば車両もいたんできて、いずれ車両の更新が必要なとき、デマンドタクシーとデマンド交通、どっちを取るか会議で決断しなければなりません。</p> <p>次回はデマンドタクシー実証実験のアンケート結果が提示され、非常に重要な会議になります。皆様にはぜひご参加くださいますようお願いいたします。</p> <p>本日市長が変わり、挨拶の中で、久喜市をもっと住みよい街にしたいという、こうしないと人口が減ってしまう。隣の白岡市は都市計画がうまくいったのか、人口が、市政になってから約2千人近く増えています。久喜市は一方で合併後2,400人減少しています。地域間の競争に勝つためには、この地域公共交通会議についても、住む方にとっても大きなポイントになるかと思えます。</p> <p>皆様で知恵を絞りあって、事業者様のお力をお借りしながら、素晴らしい市になることをご祈念したいと思えます。次回10月に多くの皆様にご参加頂き、良い会議になることをご祈念申し上げまして、本日の閉会の挨拶に代えさせていただきます。皆様お疲れ様でした。</p> <p>それでは、長時間にわたり貴重なご審議を頂き、誠にありがとうございました。</p> <p>以上で、平成30年度第一回地域公共交通会議を終了とさせていただきます。皆様ありがとうございました。</p>
<p>会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。(注)</p> <p>平成30年8月24日</p> <p style="text-align: right;">吉水 美智子</p> <p style="text-align: right;">齋藤 幹雄</p>	

(注) 特に署名等を要しない審議会等については、事務局名を記入する。